

みんなのくらし

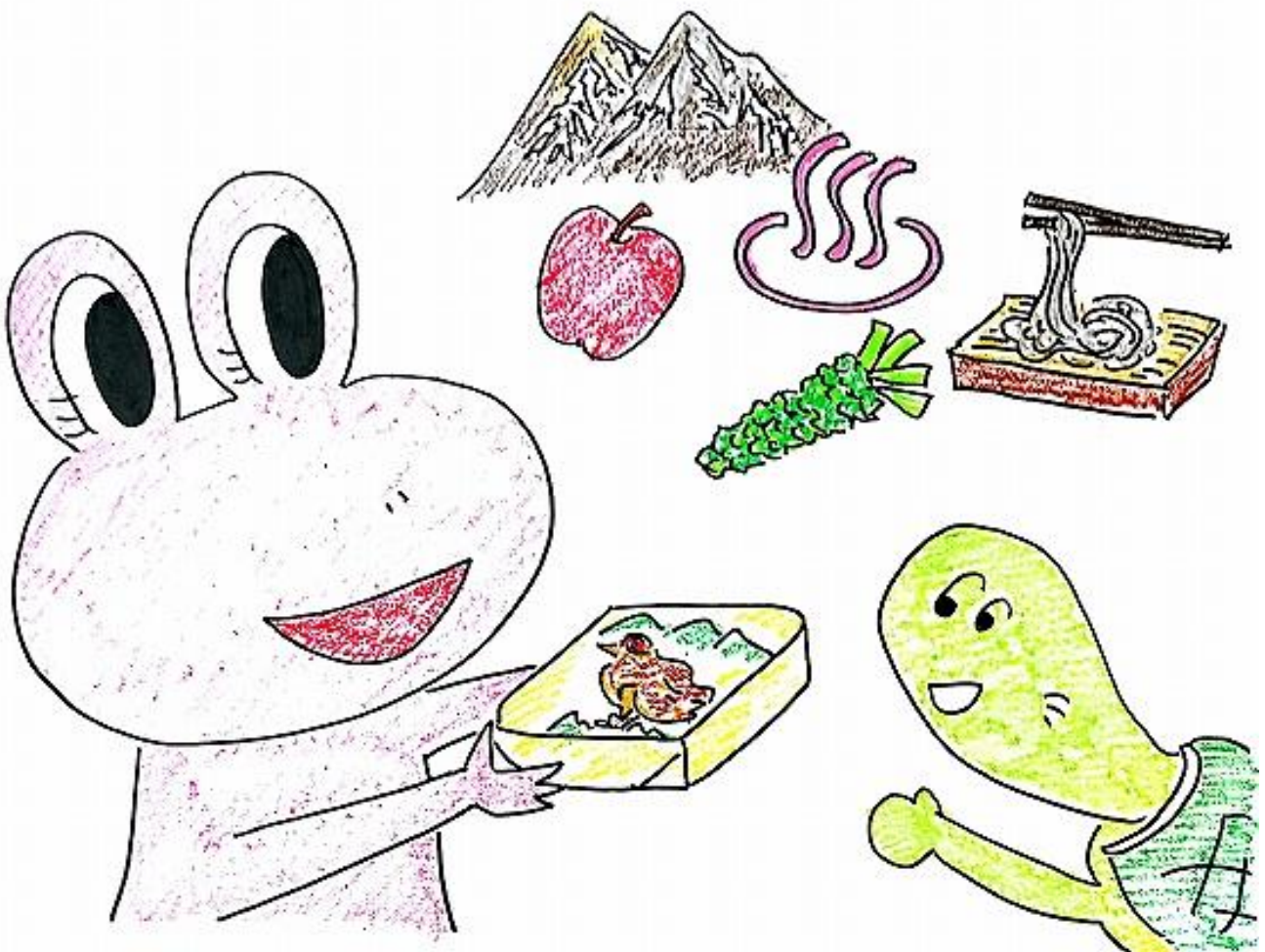


と
秦野名水

はだの

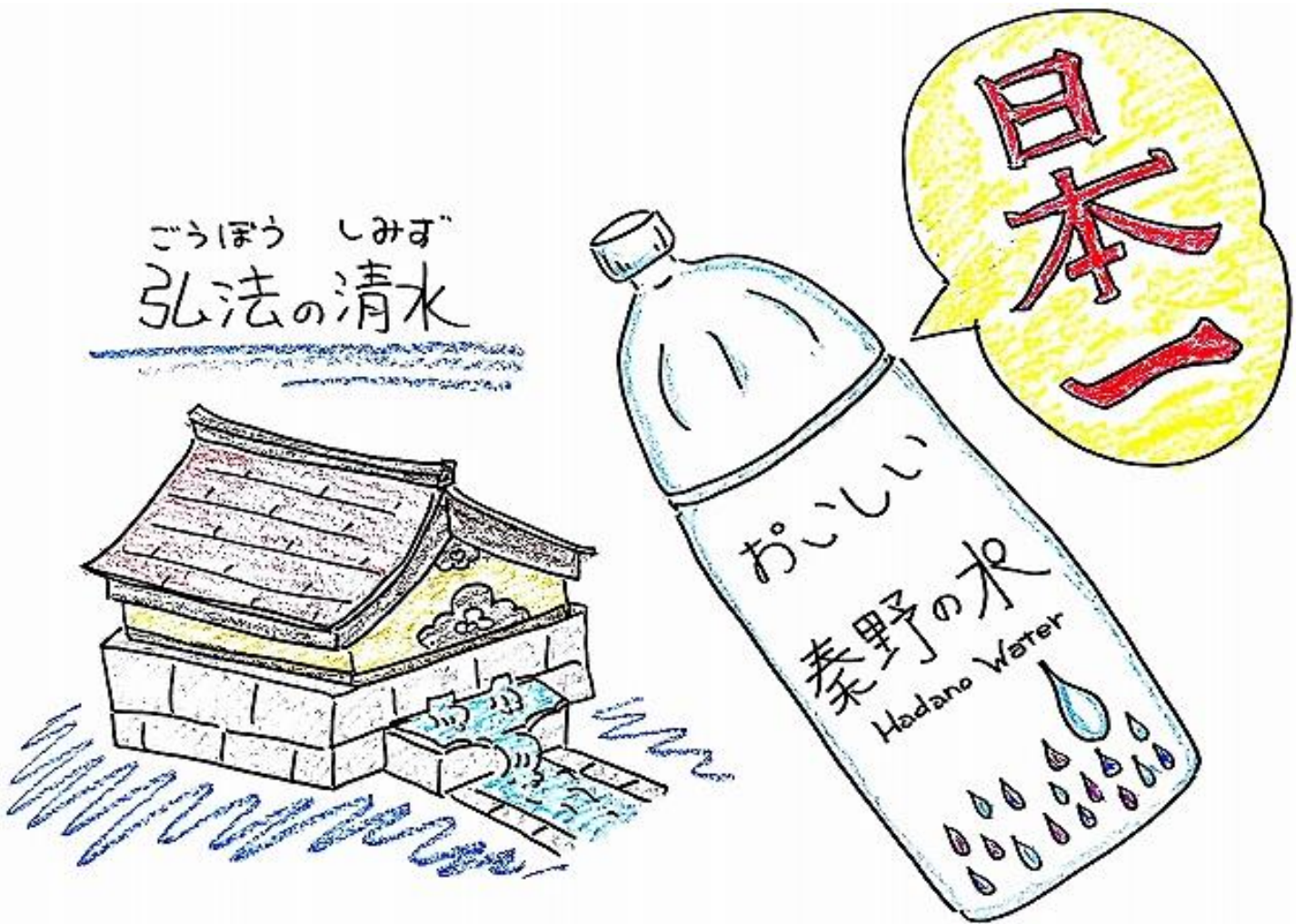
めいすい

「カメ吉君、お土産を買ってきたわ。どうぞ。」
「ありがとうございます。ぴよん子ちゃん。なにを買ってきたの?」



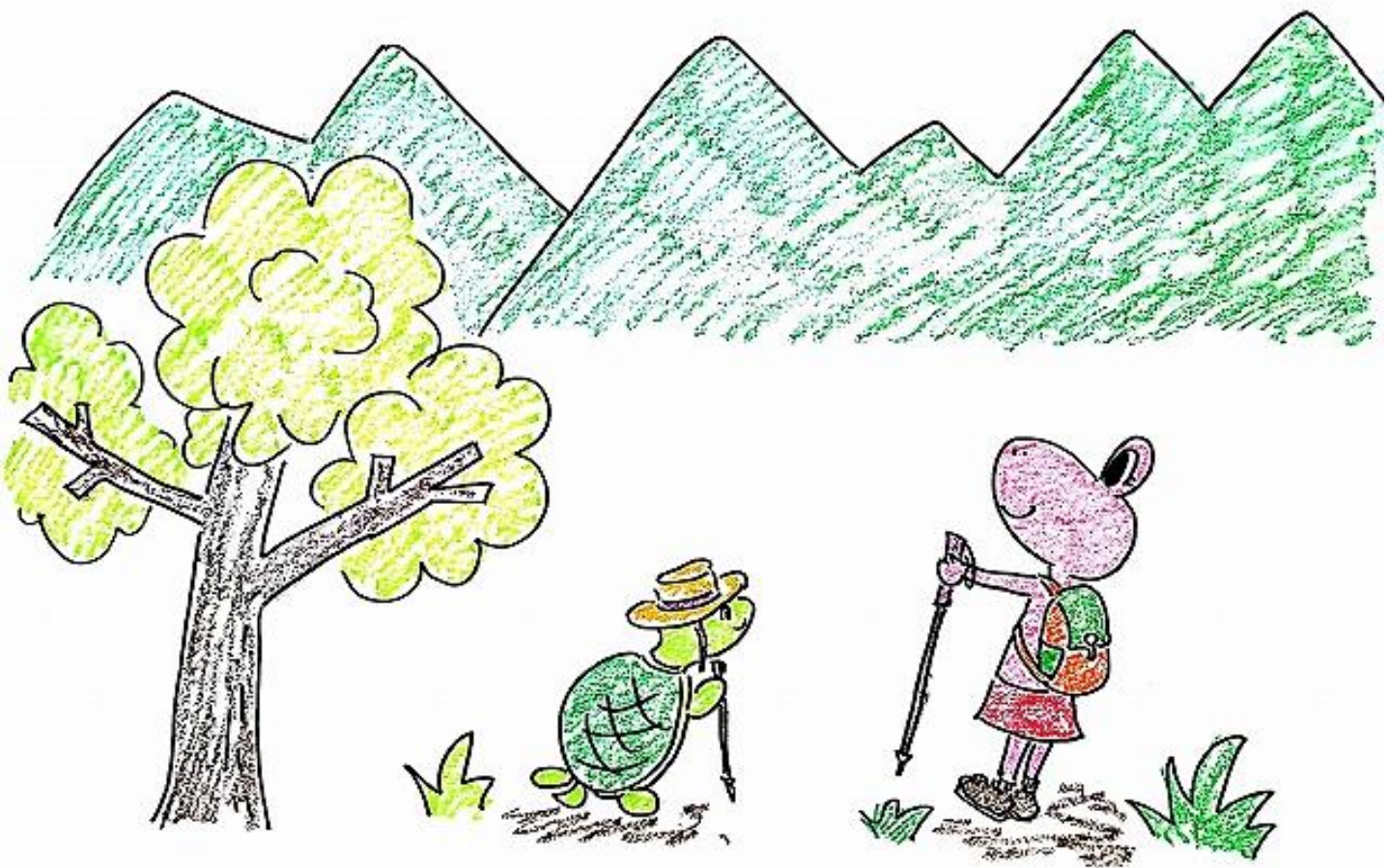
「長野県の安曇野ってところよ。湧水とわさびが有名なの。名水
百選の人気投票で、観光とよい景色が一番になったところよ。ほ
かにも、温泉やおそば、フルーツもおいしかったわ。山も大きく
て、とてもきれいだったの。」

「名水百選」といえば、ほくら^すの住んで^{はだの}いる秦野もそうだね。
「人気投票では、おいしい秦野の水が、おいしさ部門で日本一^{びもん にほんいち}に
なつたよ。」



有名^{めいせい}な水^{すい}百^{ひゃく}選^{せん}「名水百選」秦野^{はだの}盆地^{ぼんち}湧水^{ゆうすい}群^{ぐん}は、秦野^{はだの}駅^{えき}近^{ちか}くの弘法^{こうぼう}の清水^{しみず}が

「そういえば、はだの秦野には、こうぼう弘法のしみず清水のほかにもたくさんいらすと
いるがあるわよね。」

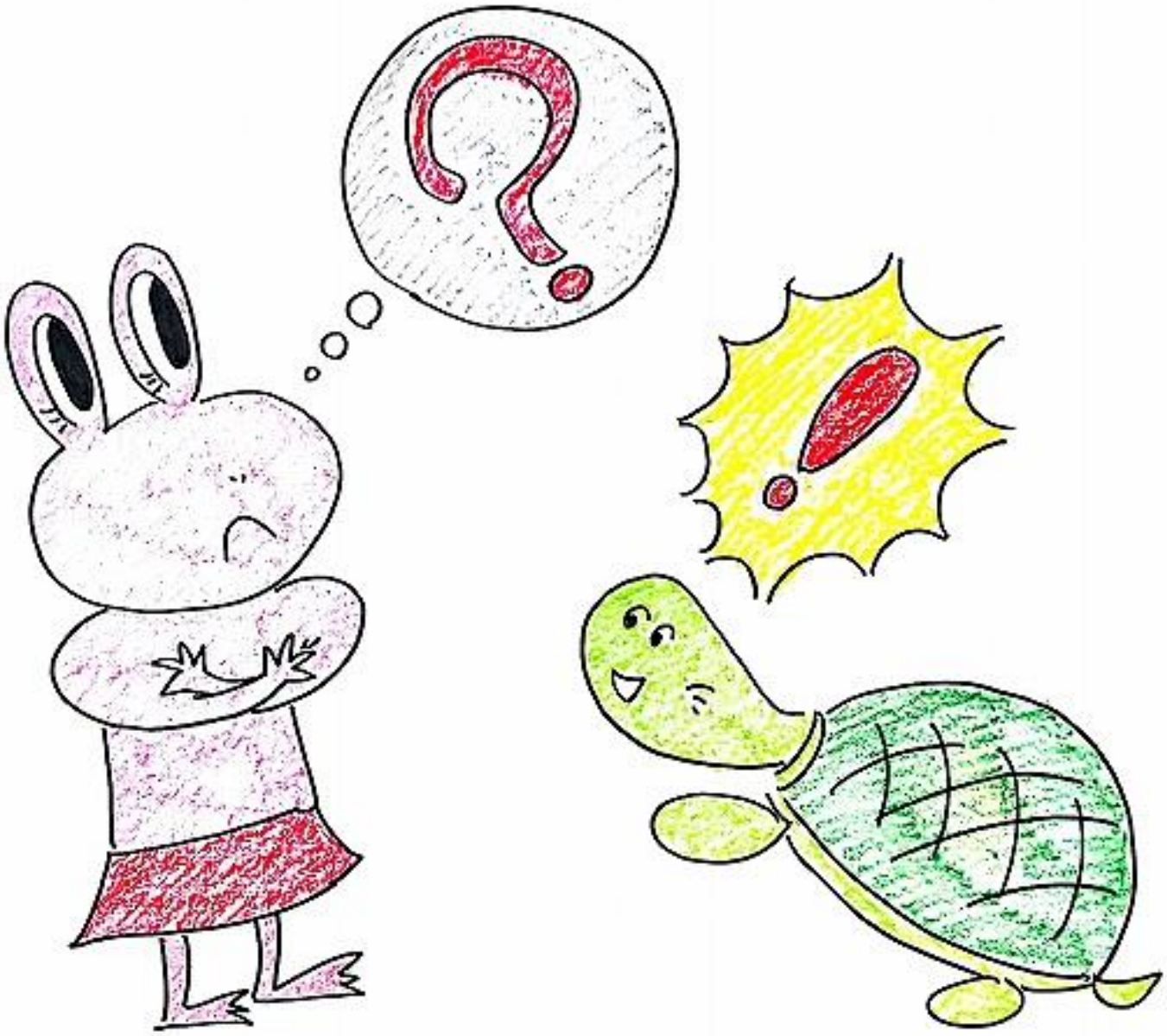


「たんざわ丹沢の山でしょ、あそびおそばでしょ、つひまきおんせん鶴巻温泉でしょ。」

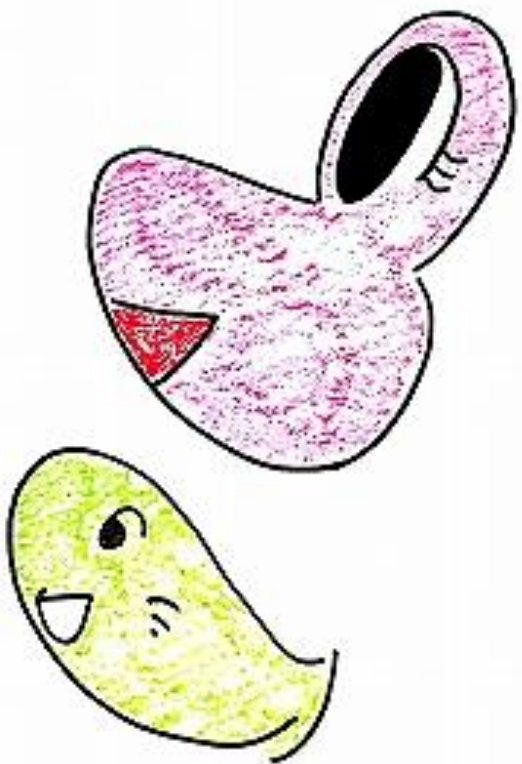
「あれっ！あそびなんだか安曇野と似ているね。」

「でも、あそみの安曇野はかんしやく観光客がたくさんいたわよ。」

「うーん、はだの秦野をもっとめいめい有名にして、ひこたくさんの人に来てもらう
じゃあいいですねばいいかなー?」
「そうだったー!」



「秦野の水はぜんぶ名水だから、秦野名水って名づけましょう。」
「そして、秦野の水が名水だとわかるように、マークを作って、
みんなに使ってもらいましょうよ。」



はだのめいすい

「それはいい考えだね。秦野名水のマークが広まれば、全国から
名水を求めて、たくさんの人が来てくれるかも。」

秦野名水を使ったおとうぶを作っているお店があるよ。

「いんじきは。いのおとうぶはびじやって作っているのですか。」



「裏のおうちから井戸の水をわけてもらって、国産の大豆を使った
こだわりのおとうぶを作っているよ。おいしいから食べてみて。」

今度は、工場みたいなところだよ。

「こんにちは。この工場はなにを作っているのですか？」



「秦野名水で、無農薬の野菜を育てているよ。工場の中で育てているから、太陽のかわりにLED照明の光をあびて、おいしい野菜ができるんだ。」

「ぴよん子ちゃん、もっとあちこちまわってみようよ。」



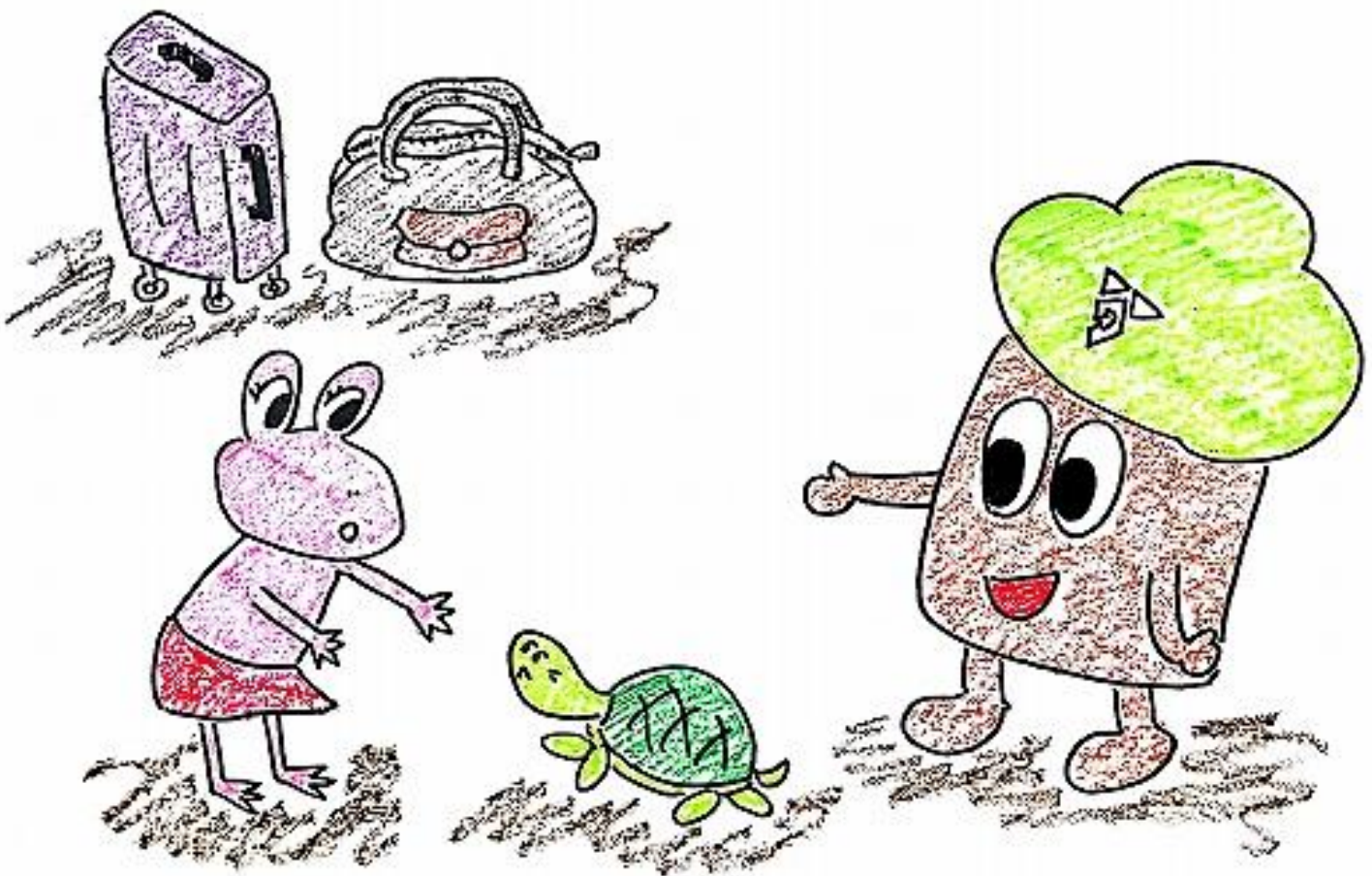
「まちなかに^{はだのめいすい}秦野名水のマークがいっぱいあるわよ。食堂、
ケーキ屋、おそば屋、お茶屋、市役所にも。」

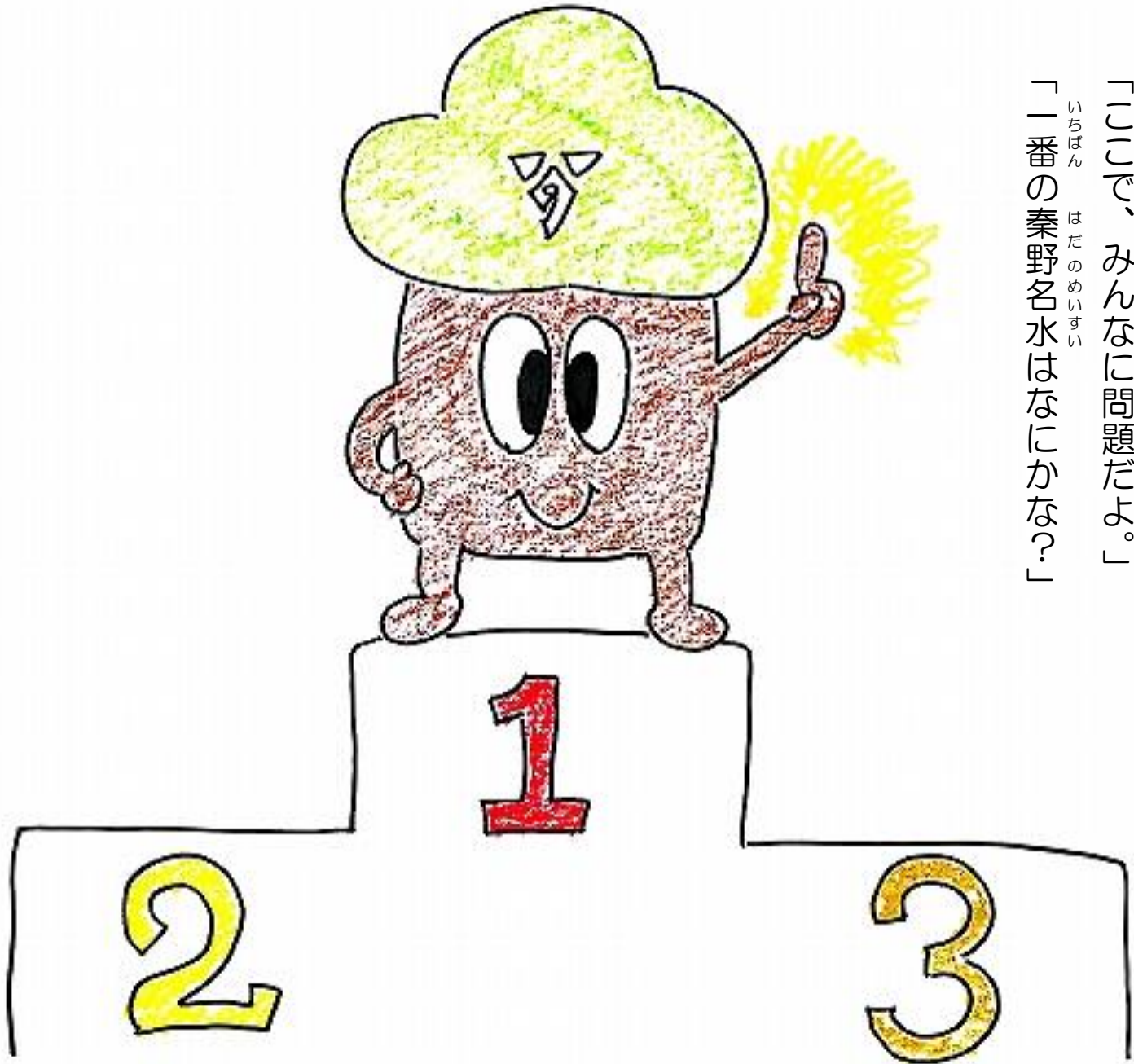
「秦野にも名物がたくさんあるから、わざわざ遠くまで行かなくてもよかったわ。」

「そんなことはないよ、ぴよん子ちゃん。」

「あら、もうりら。」

「旅行に行って、その土地の名物やくらしをみるのも大事だよ。」

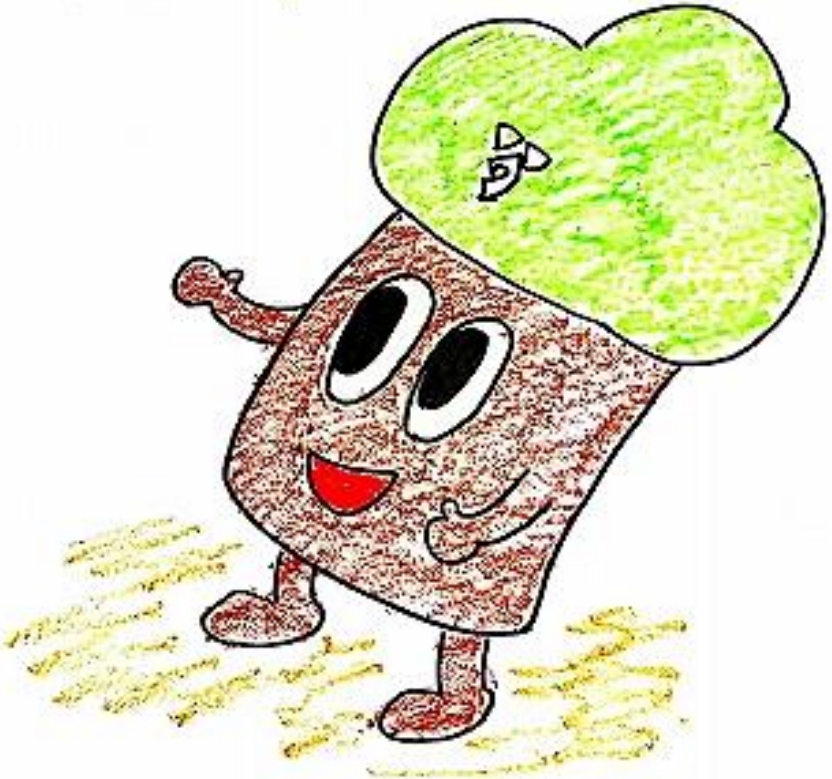




「いっいで、みんなに問題だよ。」
いちばん はだのめいすい もんだい

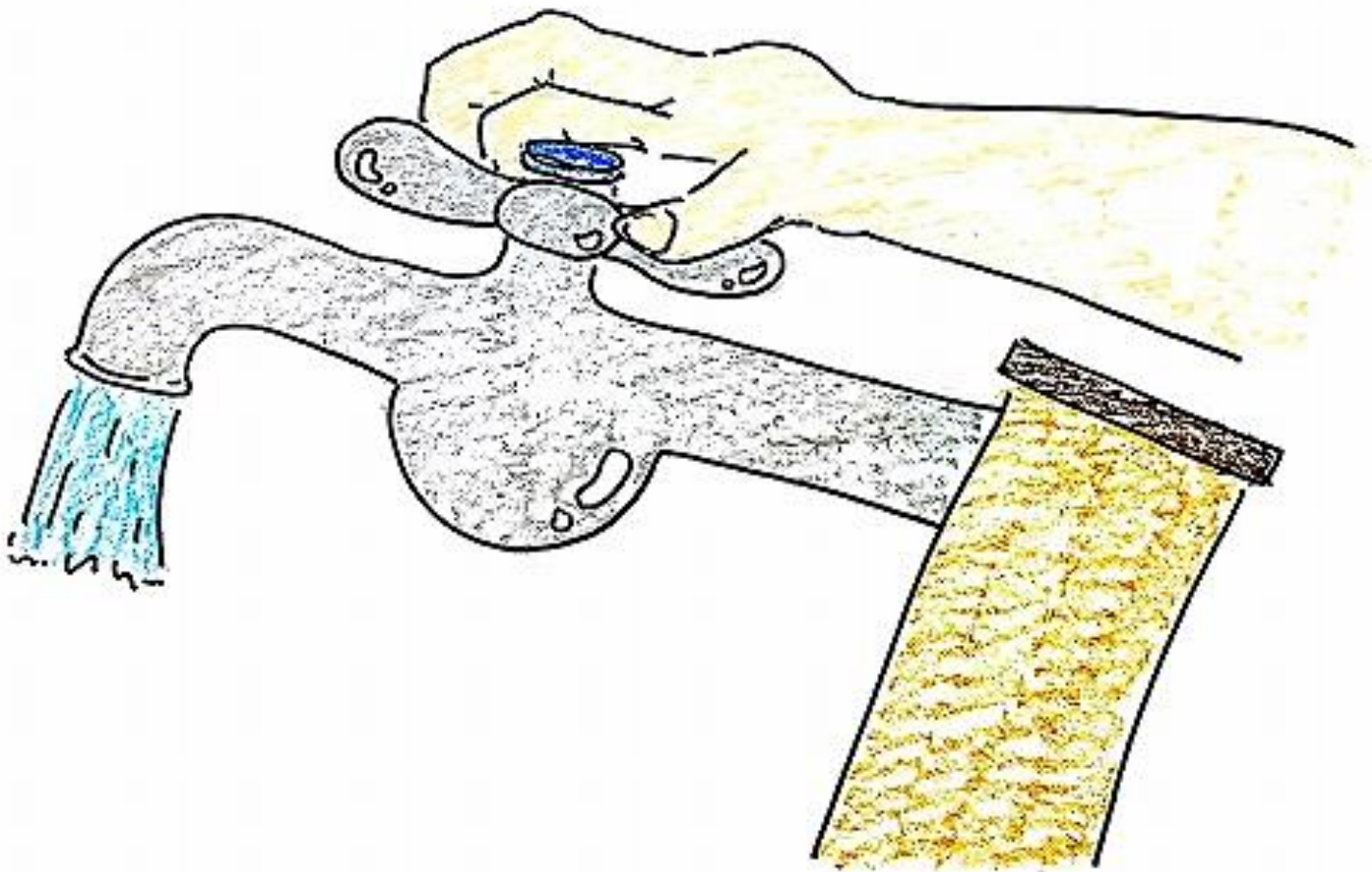
「一番の秦野名水はなにかな？」

「ピントは、みんなの近くにある水だよ。」



「おいしい秦野の水でしょ。」
「名水百選の湧水だよ。」

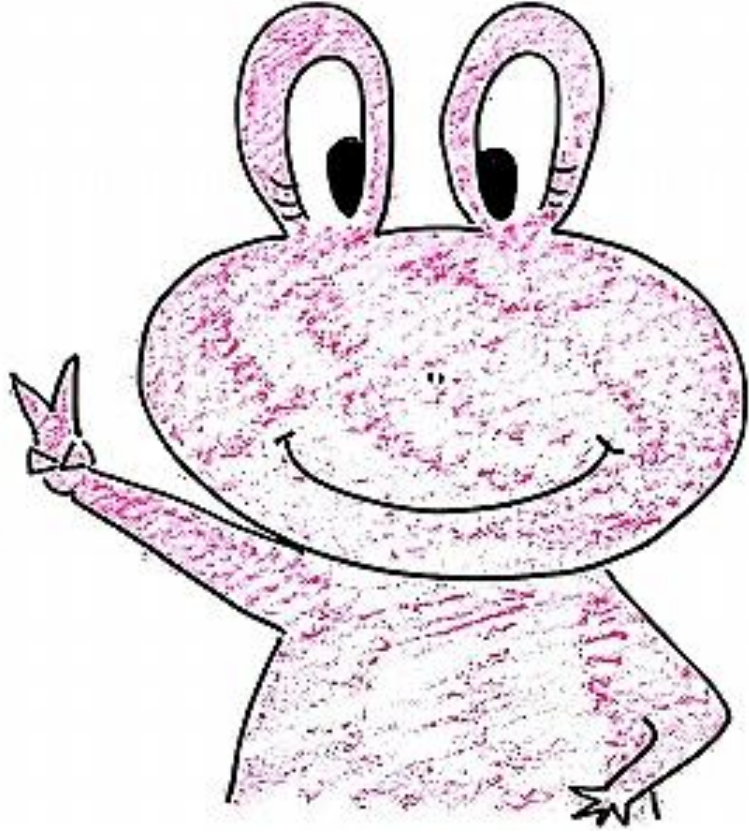
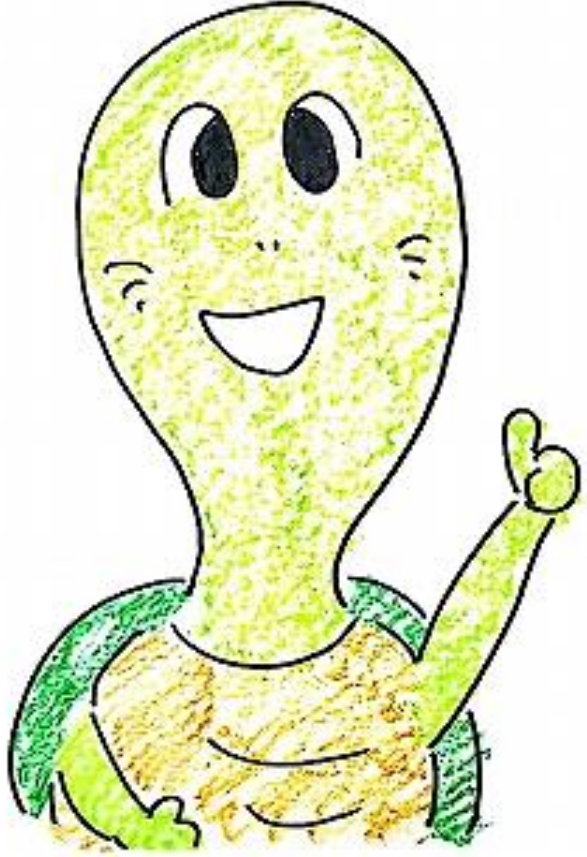
「こた答えをはっぴょう発表するね、いちばん一番のはたのめいすい秦野名水は、すいどうすい水道水だよ。」



「なげかなぜかというと、はたの秦野のすいどうすい水道水は、めいすいひゃくせん名水百選のちかすい地下水をたくさんつか使っているから、やす安くておいしいめいすい名水なんだ。」

蛇口から秦野名水

じゃぐち
ほだのめいすい



「知らなかったよ。今度、みんなにじまんしよう。」
「これからは、もっと大切に使わないとね。」

「おじいちゃん。蛇口をひねれば名水が出てくるのよ。」



みんなの暮らしと秦野名水 平成30年(2018年)8月

秦野市 環境産業部 環境保全課 <http://www.city.hadano.kanagawa.jp/>